

お箏の音色に魅せられて



生田流地唄箏曲奏者

翠 三千香

出会いと転機

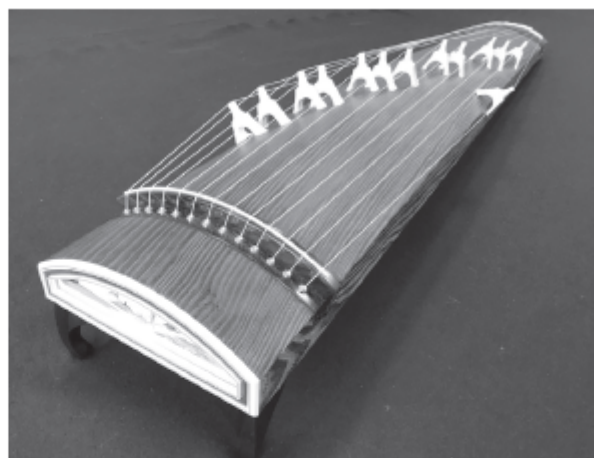
お箏ことうとは中学校で出会いました。部活紹介で耳にしたお箏の音色に心惹かれて入部したのがきっかけです。幼少期を海外で過ごしたため、日本文化の根源的な部分に自ら触れてみたいという気持ちもあったのだと思います。その後、進学や就職などの忙しさに取り紛れてお箏から遠ざかりましたが、なんと転職を機に再び縁が結ばれたのです。現在勤務しているビジネススクールは、茶の湯や漢詩、絵画などをたしなむ方々と交流し、芸術や哲学などについて対話する機会が多い環境です。その影響でしうか。

長らく芸術は見る専門だった私ですが、できれば実践者として深く楽しんでみたいと、ふと思っただのです。そこで、お箏の世界にあらためて飛び込ませていただくことにしたのでした。

箏の世界

お箏は、奈良時代に大陸から日本に伝わり、雅楽の合奏専用楽器として演奏されたと言われています。平安時代は朝廷や貴族の間で楽しまれてた様子が絵巻物などに見られます。やがて雅楽と法要が結びついた寺院雅楽が盛んになり、時代の主役が貴族から武士や僧侶になった室町時代、九州久留米の賢順けんじゆんという僧侶が「筑紫流ちくしりゆう箏曲」という新しいジャンルを編み出しました。その弟子に学んだ八橋やっはし検校けんぎょうが改良を加えて「箏曲」の世界を築き、後に民衆の間でも親しまれ、発展していきました。

お箏は、色々な楽しみ方があります。楽器演



奏そのものの楽しみもその一つ。お箏と三絃(三味線)による小規模編成のしつとりした演奏、尺八や鳴らしものも加わってまるでオーケストラのような大迫力の演奏など、弾くほうも聴くほうもお好みに応じて楽しめます。また、文学的な味わいもあります。和歌を歌詞に取り入れたり、源氏物語などを題材にしたりと、物語の

音世界に浸ってご堪能いただけます。さらには、人は苦楽を経験しながら成長し老い、ひととこゝろに留まることはありません。自分自身の変化によって、同じ曲がまるで異なる音色に聞こえたり、歌詞の意味合いが変わったり。そのような鑑賞に堪える作品がたくさんある点も、長い年月、多くの人に磨かれ手から手に継承されてきた伝統芸能の魅力の一つかもしれません。

気付きと学び

お正月によく耳にするお箏の曲「春の海」をご存じでしょうか。作曲者である宮城道雄先生は、「秋の初風」という曲もお作りになりました。「平家物語」の祇王（ぎおう）の章を題材とした曲で、「萌えいづるも 枯るるも同じ 野辺の草 いづれか秋に あはで果つべき」と、祇王が儂い身の上を読んだ歌が歌詞に織り込まれています。平家物語を知らずに聴いても寂しげな印象を受け



る曲ですが、物語を読んでから歌詞を囁みしめることで、より深く引き込まれ涙を誘われます。同時に、平家物語の登場人物の儂い身の上は、物語のなかの話ではなく、現実に生きる私達も同じであることを感じるのです。限りある時間の中でどう生きるのかを自分なりに考え、懸命に日々を歩いていくことの大切さに、弾くたび

思い至ります。

このような気づきを得られるようになりましたのは、仕事として「禅」の講座に長きに渡り携わっていることも大きいでしょう。仏教に触れさせていただいたことで、多くの伝統芸能に通底する精神性を理解し、深く共感することが増えました。また、自縄自縛の状態から自身を解放するという禅の心境を学べたことも有難いことでした。自分が苦難に直面したときに「自分はあるべき」という枠に囚われず、自分と向き合い、様々な「べき」を取り払ったら本当はどう感じていて何を大切にしたいのか、と根本まで掘り下げる姿勢は、仕事や芸、家庭、どこにあっても自分を助けてくれています。

伝統の継承

伝統芸能は演奏家や楽器制作・流通等に関わる多くの人々の尽力によって今に伝えられてい

ます。しかし、コロナ禍では老舗和楽器メーカー
廃業のニュースが一時流れ、私も衝撃を受けま
した。ただ楽しみを享受するのではなく、次代
へバトンを渡すために何ができるのかを考えさ
せられた出来事でした。

私が所属する社中「地唄箏曲美緒野会」では、
小・中学校での体験授業や各種施設での演奏な
ど様々にお箏や三絃に触れていただける取り組
みを行っております。お子様向け体験ワーク
ショップも東京都・神奈川県・埼玉県・京都府・
兵庫県で開催しております。これも、お箏・三
絃のはんなりした音色で多くの人にひと時でも
なごんでいただきたい、また次の世代に伝えて
いきたい、という思いが原動力の一つになって
います。

本誌をお読みの皆様にもいつか優しい音色を
お届けできますように精進して参りたいと思っ
ています。

○翠 三千香

宮城社教師、宮城会会員、一般社団法人日本伝統文化の会研
修委員、修士（教授システム学）、DLC認定eラーニング
コンサルタント、産業カウンセラー。



〈ご案内〉

地唄箏曲美緒野会ホームページにてワークショップ等の開催
予定をご覧いただけます。また、出張演奏や出張ワークショップ
開催のご相談を承っております。お申込みの際は「出張演
奏」依頼より、「法光を見て」とお書き添えください。

<https://shamisen.info/>

